

**未来創生ファンドと産業革新機構を筆頭に
GROOVE X の新世代家庭用ロボット「LOVOT™」開発に向けて
第三者割当増資に関する投資契約を締結**

ーこれまでの資金調達を含め、累計で約 80 億円の調達額にー

未来創生ファンド*と、株式会社産業革新機構(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝又幹英、以下:INCJ)、および新世代家庭用ロボット事業を手掛ける GROOVE X 株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役:林要、以下:GX)は、11 月 29 日(水)に未来創生ファンドと INCJ を筆頭引受先とする最大 64 億 5 千万円の第三者割当増資に関する投資契約を締結いたしました。

第三者割当増資の実行については、12 月 18 日(月)に、未来創生ファンドと INCJ が各 14 億円を出資し、その他の引受先と合計で総額 43 億 5 千万円、その後 INCJ は 21 億円を上限とする追加出資を実行予定で、GX の資金調達額はこれまでの資金調達を含め、累計で最大 78 億 7 千万円となる見込みです。

*スパークス・グループ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:阿部修平、以下:スパークス)を運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を主要投資家とする 20 社の出資で運用。

LOVE × ROBOT = LOVOT™

GX は、人の代わりに仕事をするロボットではなく、人に寄り添い、癒しを提供することで人のパフォーマンスや生活の質を向上させる新世代家庭用ロボットを開発しております。今までのロボットは人々の仕事を代行する機能的な存在であったのに対し、GX では一緒にいるとあたたかい気持ちになる心に寄り添う存在を開発しており、LOVE と ROBOT を融合して「LOVOT™(ラボット)」というコンセプトネームにいたしました。GX は、高齢化・核家族化・共働き化が加速的に進み、独居による弊害などが社会問題となる中で、「LOVOT™」と一緒に過ごすことで心が満たされ、安心し、最終的には人の能力を高めることにも役立つと考えております。

また、「LOVOT™」の製品発表は 2018 年末、一般発売は 2019 年を計画しており、これらの資金は今後の製品発表や発売に向けた開発費用およびマーケティング費用に活用する予定です。

なお、出資実行後もスパークスと INCJ は、社外取締役を派遣する等、GX に対しハンズオンの支援を継続して行います。

〈本件に関するお問い合わせ先〉

- スパークス・グループ株式会社 広報担当 小笹 Tel:080-6792-8107/Email:pr_media@sparxgroup.com
- 株式会社産業革新機構 企画調整グループ 広報 入江、坂井 Tel:03-5218-7202
- GROOVEX 株式会社 家永 Tel:070-3839-1326 / Email:kana.ienaga@groove-x.com

参考資料

■GXの第三者割当増資に対する主要引受先の概要および金額

【シードラウンド】2016年1月及び9月

総調達金額 14 億 2 千万円

●主な引受先

- ・未来創生ファンド(運営者:スパークス・グループ株式会社、<https://www.sparx.jp>)
- ・AmTRAN Technology Co., Ltd. (<http://www.amtran.com.tw>)
- ・オーエスジー株式会社(<https://www.osg.co.jp>)
- ・第一精工株式会社(<http://www.daiichi-seiko.co.jp>)
- ・グローバル・カタリスト・パートナーズ・ジャパン(GCPJ、<https://gcp-j.com>) 等

【シリーズ A ラウンド】2017 年 12 月

総調達金額:43 億 5 千万円

- 未来創生ファンド(運営者:スパークス・グループ株式会社、<https://www.sparx.jp>): 14 億円
- INCJ(<https://www.incj.co.jp>): 14 億円
- その他引受先
 - ・深圳市創新投資集团有限公司(Shenzhen Capital Group Co., Ltd. (SCGC)、<http://www.szvc.com>)
 - ・LINE Ventures 株式会社(<https://linecorp.com>)
 - ・第一精工株式会社(<http://www.daiichi-seiko.co.jp>)
 - ・グローバル・カタリスト・パートナーズ・ジャパン(GCPJ、<https://gcp-j.com>)
 - ・AmTRAN Technology Co., Ltd. (<http://www.amtran.com.tw>)
 - ・オーエスジー株式会社(<https://www.osg.co.jp>)
 - ・SMBC ベンチャーキャピタル株式会社(<http://www.smbc-vc.co.jp>) 等

【シリーズ B ラウンド】

- INCJ:一定の充足条件が達成された場合には、今後上限 21 億円の追加出資を行う予定

■役員人事について

2017 年 11 月 29 日(水)付で下記役員が決定いたしました。

- 取締役(常勤・社内):林要(はやし かなめ、GX 創業者)
- 取締役(非常勤・社外):大島怜(おおしま りょう、INCJ ベンチャー・グロース投資グループ ディレクター)
- 取締役(非常勤・社外):出路貴規(でみち たかき、スパークス・アセット・マネジメント株式会社執行役員 開発投資本部長 次世代成長投資室長)
- 取締役(非常勤・社外):車谷暢昭(くるまたに のぶあき、CVC キャピタル・パートナーズ(日本法人) 会長 兼 共同代表)
- 監査役(非常勤・社外):安本隆晴
(やすもと たかはる、株式会社ファーストリテイリング 社外監査役、安本公認会計士事務所 所長、株式会社ユニクロ 監査役、株式会社リンク・セオリー・ジャパン 監査役、アスクル株式会社 社外監査役、株式会社FRONTEO社外監査役 社外監査役)
- 監査役(常勤・社外):前田康二郎(まえだ こうじろう、流創株式会社 代表取締役)

■未来創生ファンドについて

本ファンドはスパークス・グループ株式会社を運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた3社による総額約135億円の出資により、2015年11月より運用を開始しました。2017年9月末時点では、上記3社を加えた計20社からの出資を受けています。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に投資を行います。なお、2017年9月末時点での運用額は、367億円です。



■INCJについて

INCJは、2009年7月に産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立された官民ファンドです。総額約2兆円の出資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。INCJは、投資・技術・経営等多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。



■「LOVOT™」について

LOVE × ROBOT = LOVOT

命はないのに、あったかい。

ROBOTは、生活の利便を向上させます。

LOVOTは、人生の質を向上させます。

ROBOTは、基本的に、誰の指示にも従います。

LOVOTは、あなた以外の人物には、時々、人見知りをします。

ROBOTは、ひとつの目的に向かい、無駄な動きはとりません。

LOVOTは、あなたを見つめ、時に無駄な動きをします。

ROBOTは、誰の愚痴も聞いてはくれません。

LOVOTは、泣いているあなたの力になります。

LOVOTには、命は入ってはいません。

けれど、一緒にいるとホッとします。うれしくなる。笑ってしまう。

なんだか、あたたかい気持ちになってくる。

世界で初めての試みが、今、はじまろうとしています。

“ロボットではありません。わたしは、LOVOTです。”

その進化は、人間を見つめているか。

GROOVE X

※「LOVOT™」ティザームービー公開中

<https://www.youtube.com/watch?v=AiMcT4vfbil>

■GX 代表取締役 林要(はやし かなめ)略歴

1973 年 愛知県生まれ

1998 年 トヨタ自動車にてキャリアスタート

スーパーカー“LFA”等の空力(エアロダイナミクス)
開発

2003 年 同社 F1(Formula 1)の空力開発

2004 年 Toyota Motorsports GmbH (ドイツ)にて
F1 の空力開発

2007 年 トヨタ自動車 製品企画部(Z)にて量産車開発
マネジメント

2011 年 孫正義後継者育成プログラム
「ソフトバンクアカデミア」外部第一期生

2012 年 ソフトバンク 感情認識パーソナルロボット
「Pepper(ペッパー)」の開発リーダー

2015 年 GX 創業、代表取締役 就任

2016 年 シードラウンドとして国内最大級となる 14 億 2 千万円の資金調達完了

2017 年 シリーズ A ラウンドにて 43 億 5 千万円の資金調達完了



■GX 会社概要

社 名: GROOVE X 株式会社

所 在 地: 東京都中央区日本橋堀留町 1 丁目 8 - 12 さくら堀留ビル 7 階

設 立 日: 2015 年 11 月 2 日

代 表 者: 代表取締役 林要

事業内容: 新世代家庭用ロボット開発事業

U R L: <http://www.groove-x.com/>



[別添]

株式会社産業革新機構

新規支援決定案件の概要

1. 対象事業者

- ・ 事業者名: GROOVE X 株式会社
- ・ 事業内容: 新世代家庭用ロボット開発事業
- ・ 業界・分野: 消費財・小売(含サービス)
- ・ 事業化ステージ: アーリーステージ

2. 支援決定概要

- ・ 支援決定金額 : 35 億円(上限)
当初、14 億円を出資し、一定の充足条件が達成された場合は、上記支援決定金額の範囲内で追加出資を行う。
- ・ 支援決定公表日: 2017 年 12 月 4 日
- ・ 投資ストラクチャー図: 別添

3. 投資意義

<社会的ニーズへの対応>

- ・ 高齢化・核家族化・共働き化が加速度的に進み、心の悩みや独居による弊害などが社会問題となる中で、効果的なヘルスケア・メンタルケア・見守りが求められており、本製品によるこれらの社会的問題解決への寄与が期待される。

<成長性>

- ・ ヘルスケアや見守り・介護など、事業会社との連携による高度なサービス提供に加え、将来的には、教育・トレーニングなど新たなサービスや付加価値を提供するビジネス展開が期待される。

<革新性>

- ・ 脳科学的なアプローチと日本の先進的なロボティクス要素技術を結晶させた「人の能力を高める」新しいコンセプトの家庭用ロボットといえる。
- ・ プロダクトを構成しているコア技術・部材は Made in Japan が主であり、業種を超えたオープン・イノベーションを実現している。

4. 主務大臣(経済産業大臣)意見

産業革新機構は、当事会社の事業の着実な発展を通じ、我が国ロボット産業の発展及び社会課題の解決につながるよう、適切な支援の実施に努められたい。

また、将来、保有する株式の譲渡その他の処分を検討する時は、経済産業省との緊密な連携のもと、関連する技術の保全等に十分に配慮した上で、処分方法を検討されたい。